

コラム

〈腰折れ文〉 二十二、

渡邊澄子（会員）

四年に一度の統一地方選が終わった。投票率は過去最低で、無投票が市長選で31・4割、町村長選では45・5割だったという。何とも情けない。直近で命や生活に関わる問題なのに、主権者の自覚なく投票の権利と義務を放棄する人達の気が知れない。腐敗・墮落の極にある政権を見放した結果だろうが、ならばこそ、そのような政権を失脚させる意思表示をすべきだろう。民度も下落の一途か。沖縄は、議員経験のないままさらな新人に対して、元沖縄北方相をぶつけてきたが、無党派層の投票先が屋良氏76・2に対して島尻氏23・8が沖縄県民の意思の指標になるだろうが、これまでの選挙でも知事選はじめ新基地反対を訴えた候補が勝利し、県民投票でも七割超が反対の県民の声に一顧だにせず、軟弱地盤その他多くの難題を未解決のまま埋め立て続行を平然と力づくで続行する政府は、日本国の政府なのかと哀しく

なる。政府どころか司法まで普天間爆音訴訟は賠償三割超減、健康被害も認めず、飛行差し止めも「制限する立場にない」と退けた。普天間飛行場や隊舎の補修費も日本負担という。基地住民の生存を脅かしている根源の地位協定は他国では毅然と国内法を順守させているのに、米国言いなりの日本はまるで米国の植民地ではないか。米兵による殺人事件がまたもや。母親が殺される現場には小学生の女兒がいて通報者はこの子だった。何という残酷な！この子のこれからを想像すると震えがとまらない。米国はこの子にどう責任をとるのか見守りたい。

「スリランカ」でのテロ事件はキリスト教徒と外国人が標的とあるが、何故なのだろう。宗教間の対立というが、理不尽な残虐の繰り返しが私には理解できない。宗教に無縁な私が三度訪れ、感動に酔いしれた大聖堂炎上は衝撃だった。絶句、号泣して祈りを捧

げる人々に「宗教」を感じた。小ぶりの林檎一個より軽い二百多年の超未熟児が退院の日を迎えたニュースに無信心な私だが神の恩寵かと心が波立った。元気に育ってね、と祈りたい。元号フィバーにはうんざり。グローバル化した世界の現状にあつて時代錯誤ではないか。本家本元の中国では西暦だ。新元号は国書『万葉集』からと大宣伝だが、本歌取りかとも思つのは素人の深読みだが、『万葉集』以前の漢籍『文選』に「令」「和」の入った文があり、戦争下では「海ゆかば」など戦争使喚の役割を果たしている。天皇退位・即位問題と絡むが、元号は孝徳天皇の六四五年の「大化」から始まり、平成まで一二五代天皇の間に二四九の元号が使われている。一代の天皇に九元号の時代もあり、万世一系も神話から生まれた「神国思想」によるが百済や新羅などの血も入っている純血ではない。藤原道長が象徴的だが娘たちを入内させて男子誕生で皇位に就ければ天皇の外戚になれ、権力強化がはかれたことで、競って豪族が娘を差し出し、天皇も女性を生殖と快楽の道具にした多妻妾多子の長い時代があったのだ。桓武天皇には名前

の分かっている女性だけでも三三人いたと言われ、したがって設けた子も多い。トップは嵯峨天皇の皇子三人、皇女二七人、計五〇人で、光孝天皇の四六人、醍醐天皇の三八人と続く。後宮に入れば権力を持てるので、天皇家の女達の物語は尽きない。女性天皇も江戸時代に二帝、推古天皇から重祚もあるが十代八人あり、三歳で即位とか、二十代三十代での退位は結構多い。天皇退位・即位の儀式には「人間宣言」され、主権在民の現憲法違反が多い。「陛下」の呼称もだが大嘗祭は「神」になる儀式なので問題は大きい。当時首相だった森喜朗氏の天皇中心の神の国であることを承知せよの発言には呆然としたが、男女平等の憲法下、愛子天皇は至極当然なのに、「日本会議」派の跳梁が違反を正当化している。抑圧の多い天皇家は大変だろうと同情されるが、「集団自決」に追い込んだヒビガマの悲惨が語り継がれる戦争のない時代であってほしい。安倍政権は湯水のように税金を使うが子どもの貧困、下宿私大生一日生活費六七七円解消などの問題にこそ目を向けるべきだろう。